

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年7月27日（水）

2 確認箇所

- ・ Bタンクエリア
- ・ 使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）西側（トレーラ燃料油漏えい場所）

3 確認項目

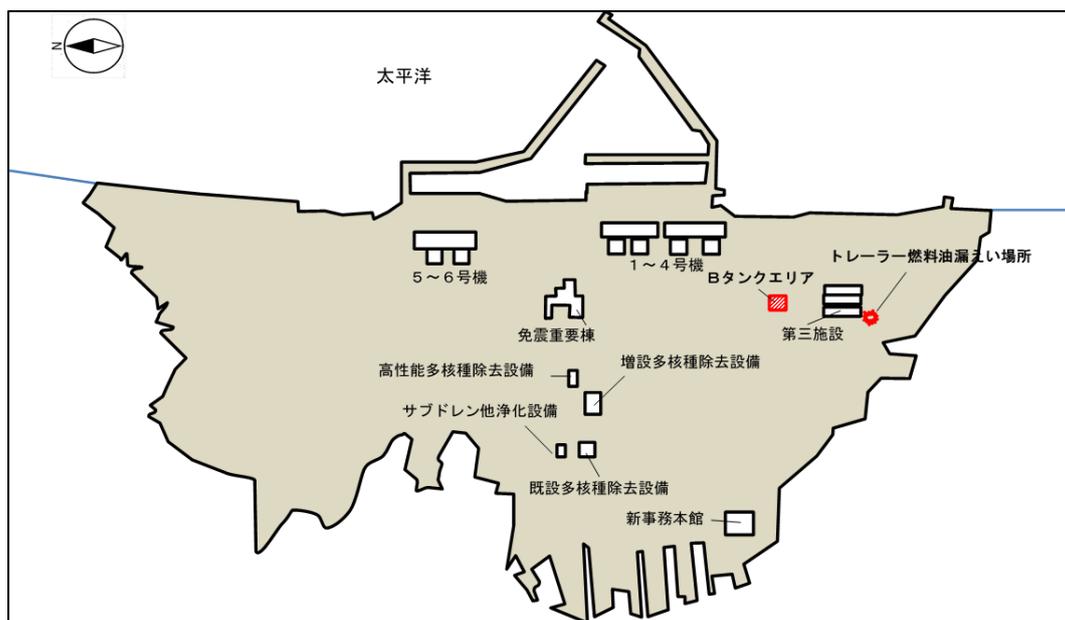
- (1) Bタンクエリアにおけるタンク位置ずれ等の対応状況
- (2) トレーラからの燃料油漏えい事象の対応状況

4 確認結果の概要

- (1) Bタンクエリアにおけるタンク位置ずれ等の対応状況について

令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震（マグニチュード7.3、立地町震度6弱）により、タンクや移送配管等からの漏えいはなかったものの複数のタンクエリアでタンクの位置ずれ等が発生したことが確認された。東京電力では位置ずれが確認されたタンクの連結管の詳細調査を実施し、メーカー推奨変位値（偏心：150mm 伸縮：±50mm）を超える変位が確認された連結管については、水抜きをして取り外すとともに閉止措置を行うなどの対応を実施するとしていることから、今回はBタンクエリアにおける対応状況を確認した。（図1）（写真1）（前回確認日：令和4年3月30日（Bタンクエリア）、令和4年7月12日（Dタンクエリア対応状況））

- ・ Bタンクエリアでは3本の連結管においてメーカー推奨変位値を超える変位が確認されており、3本全ての連結管が取り外されていることを確認した。（写真2）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
Bタンクエリア概観
(北側から撮影)



(写真2-1)
メーカー推奨変位値超過連結管の例
(保温材を外したA1-B1の状況)
(前回(3月30日)南側から撮影)



(写真2-2)
連結管取り外し後の例 (A1-B1)
(今回(7月27日)北側から撮影)

(2) トレーラからの燃料油漏えい事象の対応状況について

昨日（7月26日）に引き続き、使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）西側において、昨日発生したトレーラ燃料油漏えい事象の対応状況を確認した。（図1）

- ・トレーラは移動されており、作業員が側溝のコンクリート蓋に付着した油分を除去する作業や側溝内に土嚢による堰を設置する作業などを行っていた。（写真4）
- ・側溝下流側のグレーチング設置箇所（漏えい場所から6箇所目まで）には、油吸着マットが設置されていた。吸着マットに目立った油分はなく側溝の流水に油膜は確認されなかった。（写真5）



(写真3-1)
油分除去作業の状況
(南西側から撮影)



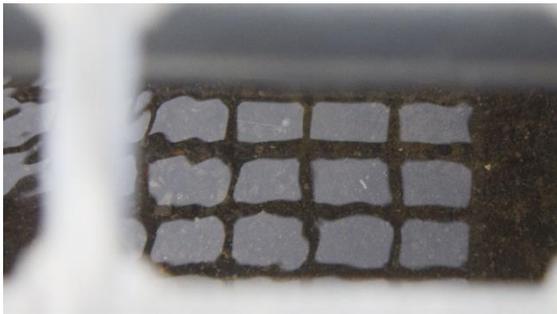
(写真3-2)
側溝内の堰設置作業の状況
(西側から撮影)



(写真4-1)
漏えい場所下流の側溝の状況
(東側から撮影)



(写真4-2)
側溝内に敷設された吸着マットの例
(漏えい場所から3箇所目のグレーチング)



(写真4-3)
側溝下流の流水の状況
(漏えい場所から6箇所目のグレーチング)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。